

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**(共通)**」 シラバスの詳細は以下となります。

▲ 戻る

科目名 担当教員 対象学年 曜日・時限 講義室 授業形態 科目大分類 科目小分類 科目小分類 科目の位置付け(開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	DP6-K (表現力・対話力) 文章及び口頭で、自らの考え: ■ CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ D1 市民的素養と参加(10%) A1 グローバル破党(5%) A2 異文化適応(5%) I1 理解・分析と読解(20%) K1 ライティング・コミュニケーション(30%) K2 オーラル・コミュニケーション(30%) 一 ■能力開発の目標ステージとの対応 ※グラスによって、目標となるステージが異なります。 3 発展期~4 定着期 2 進行期~3 発展期	3姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 Jに扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ことができる。		
担当教員 対象学年 曜日・時限 講義室 授業形態 科目大分類 科目中分類 科目小分類 科目の位置付け(開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	加納 奈保子,Dayana Malabanan 1年 水1 1206 演習 総合教育科目 総合基礎 7 語学 ■ D P コード・学修のゴールを示すディブロマボリシーとの関連 D P 1 ー D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コ D P 2 ー A (日本の精神文化を理解し多様な価値骸を受容する 異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理除を促進し亘 D P 4 ー I (理解力・分析力) 文章表現、数値データを適切 D P 6 ー K (表現力・対話力) 文章及び口頭で、自らの考え・ ■ C R コード・学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・D 1 市民的素養と参加(10 %) A 1 グローバル感覚(5 %) A 2 異文化適応(5 %) I 1 理解・分析と読解(2 0 %) K 1 ライティング・コミュニケーション(3 0 %) K 2 オーラル・コミュニケーション(3 0 %) 一 ■能力開発の目標ステージとの対応 ※グラスによって、目標となるステージが異なります。 3 発展期~4 定着期 2 進行期~3 発展期	単位区分 単位数 コミュニティに積極的な変化をもたらすために る姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 別に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析 を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	必 1 こ、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ることができる。		
対象学年 曜日・時限 講義室 授業形態 科目大分類 科目小分類 科目小分類 科目の位置付け(開発能力)	1年 水1 1206 演選	単位区分 単位数 コミュニティに積極的な変化をもたらすために る姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 別に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析 を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	必 1 こ、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ることができる。		
曜日・時限 講義室 授業形態 科目大分類 科目中分類 科目小分類 科目の位置付け(開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	水1 1206 演習 総合教育科目 総合基礎 7語学 ■ DPコード-学修のゴールを示すディブロマボリシーとの関連 DP1-D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コ DP2-A (日本の精神文化を埋解し多様な価値骸を受容する 異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互 DP4-I (理解カ・分析カ) 文章表現、数値データを適切 DP6-K (表現カ・対話カ) 文章及び口頭で、自らの考え・ ■ CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・ D1 市民的素養と参加(10%) A1 グローバル感覚(5%) A2 異文化適応(5%) I1 理解・分析と読解(20%) K1 ライティング・コミュニケーション(30%) K2 オーラル・コミュニケーション(30%) 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位区分 単位数 コミュニティに積極的な変化をもたらすために る姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 別に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析 を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	必 1 こ、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ることができる。		
議義室 授業形態 科目大分類 科目中分類 科目小分類 科目の位置付け(開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	1206 演習 総合教育科目 総合基礎 7 語学 ■ D P コード・学修のゴールを示すディブロマボリシーとの関連 D P 1 ー D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コ D P 2 ー A (日本の精神文化を理解し多様な価値骸を受容する 異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互 D P 4 ー I (理解カ・分析カ) 文章表現、数値データを適切 D P 6 ー K (表現カ・対話カ) 文章及び口頭で、自らの考え・ ■ C R コード・学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・D 1 市民的素養と参加 (10%) A 1 グローバル感覚 (5%) A 2 異文化適応 (5%) I 1 理解・分析と読解(20%) K 1 ライティング・コミュニケーション(30%) K 1 ライティング・コミュニケーション(30%) K 2 オーラル・コミュニケーション(30%) ー ■能力開発の目標ステージとの対応 ※グラスによって、目標となるステージが異なります。 3 発展期~4 定着期 2 進行期~3 発展期	単位数 コミュニティに積極的な変化をもたらすため る姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析 を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	1 こ、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。		
授業形態 科目大分類 科目中分類 科目小分類 科目の位置付け(開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	 演習 総合教育科目 総合基礎 7 語学 ■ DPコード-学修のゴールを示すディブロマポリシーとの関連 DP1-D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コ DP2-A (日本の精神文化を理解し多様な価値骸を受容する 異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互 DP4-I (理解カ・分析カ) 文章表現、数値データを適切 DP6-K (表現カ・対話カ) 文章及び口頭で、自らの考え: ■ CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・D1 市民的素養と参加 (10%) A1 グローバル感覚 (5%) A2 異文化適応 (5%) I1 理解・分析と読解 (20%) K1 ライティング・コミュニケーション (30%) K2 オーラル・コミュニケーション (30%) K2 オーラル・コミュニケーション (30%) 一 ■能力開発の目標ステージとの対応 ※クラスによって、目標となるステージが異なります。 3 予度期~3 発展期 2 進行期~3 発展期 	単位数 コミュニティに積極的な変化をもたらすため る姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析 を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	1 こ、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ることができる。		
科目大分類 科目中分類 科目小分類 科目の位置付け(開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	総合教育科目 総合基礎 7語学 ■ D P コード・学修のゴールを示すディブロマポリシーとの関連 D P 1 - D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コ D P 2 - A (日本の精神文化を理解し多様な価値骸を受容する 異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互 D P 4 - I (理解カ・分析カ) 文章表現、数値データを適切 D P 6 - K (表現カ・対話カ) 文章及び口頭で、自らの考え・ ■ C R コード・学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・ D 1 市民的素養と参加 (10%) A 1 グローバル感覚 (5%) A 2 異文化適応 (5%) I 1 理解・分析と読解(20%) K 1 ライティング・コミュニケーション(30%) K 2 オーラル・コミュニケーション(30%) K 2 オーラル・コミュニケーション(30%) ■ 能力開発の目標ステージとの対応 ※グラスによって、目標となるステージが異なります。 3 発展期~4 定着期 2 進行期~3 発展期	コミュニティに積極的な変化をもたらすために る姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 別に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析 を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	こ、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ることができる。		
科目中分類 科目小分類 科目の位置付け (開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	総合基礎 7 語学 ■ D P コード・学修のゴールを示すディブロマポリシーとの関連 D P 1 - D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コ D P 2 - A (日本の精神文化を理解し多様な価値散を受容する 異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し D P 4 - I (理解カ・分析カ) 文章表現、数値データを適切 D P 6 - K (表現カ・対話カ) 文章及び口頭で、自らの考え・ ■ C R コード・学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・ D 1 市民的素養と参加 (10%) A 1 グローバル感覚 (5%) A 2 異文化適応 (5%) I 1 理解・分析と読解 (20%) K 1 ライティング・コミュニケーション (30%) K 2 オーラル・コミュニケーション (30%) K 2 オーラル・コミュニケーション (30%) ■ 能力開発の目標ステージとの対応 ※グラスによって、目標となるステージが異なります。 3 発展期~4 定着期 2 進行期~3 発展期	3姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 Jに扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ことができる。		
科目小分類 科目の位置付け(開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	7 語学 ■ D P コード・学修のゴールを示すディブロマポリシーとの関連 D P 1 ー D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コ D P 2 ー A (日本の精神文化を理解し多様な価値散を受容する 実文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し亘 D P 4 ー I (理解カ・分析カ) 文章表現、数値データを適切 D P 6 ー K (表現カ・対話カ) 文章及び口頭で、自らの考え・ ■ C R コード・学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・ D 1 市民的素養と参加(10%) A 1 グローバル感覚(5%) A 2 異文化適応(5%) I 1 理解・分析と読解(20%) K 1 ライティング・コミュニケーション(30%) K 2 オーラル・コミュニケーション(30%) ー ■能力開発の目標ステージとの対応 ※クラスによって、目標となるステージが異なります。 3 発展期~4 定着期 2 進行期~3 発展期	3姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 Jに扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ことができる。		
科目の位置付け(開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	■ DPコード-学修のゴールを示すディブロマボリシーとの関連 DP1-D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コ DP2-A (日本の精神文化を理解し多様な価値数を受容する 異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し亘 DP4-I (理解力・分析力) 文章表現、数値データを適切 DP6-K (表現力・対話力) 文章及び口頭で、自らの考え: ■ CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・ D1 市民的素養と参加 (10%) A1 グローバル感覚 (5%) A2 異文化適応 (5%) I1 理解・分析と読解 (20%) K1 ライティング・コミュニケーション (30%) K2 オーラル・コミュニケーション (30%) K2 オーラル・コミュニケーション (30%)	3姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 Jに扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ことができる。		
科目の位置付け(開発能力) 教員の実務経験 成績ターゲット区分	DP1-D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コ DP2-A (日本の精神文化を理解し多様な価値散を受容する 実文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し DP4-I (理解カ・分析カ) 文章表現、数値データを適切 DP6-K (表現カ・対話カ) 文章及び口頭で、自らの考え: ■ CRコード・学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・ D1 市民的素養と参加 (10%) A1 グローバル感覚 (5%) A2 異文化適応 (5%) I1 理解・分析と読解 (20%) K1 ライティング・コミュニケーション (30%) K2 オーラル・コミュニケーション (30%) K2 オーラル・コミュニケーション (30%) C2 ポーラル・コミュニケーション (30%) 第2 ボーラル・コミュニケーション (30%) 3 発展期~4 定着期 2 進行期~3 発展期	3姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、 連関係を構築することができる。 Jに扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と を的確に表現し、他者に過不足なく伝達する	異文化との交流の重要性を認識するとともに、 と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ことができる。		
成績ターゲット区分	※クラスによって、目標となるステージが異なります。3 発展期~4 定着期2 進行期~3 発展期				
成績ターゲット区分	※クラスによって、目標となるステージが異なります。3 発展期~4 定着期2 進行期~3 発展期				
	1 萌芽期~2 進行期	※クラスによって、目標となるステージが異なります。3 発展期~4 定着期2 進行期~3 発展期			
科目概要・キーワード	英語IIで学修した内容を基に、コミュニケーションスキルの強化を目的とします。発話に必要な個々の発音や発話のメカニズムについて定着させながら、アクティビティ・グループワークを通して、実際の現場に沿った英語に触れます。授業は習熟度別クラス編成で実施され、学修の目標設定と到達度確認には TOEIC Bridge L&R IP テストが利用されます。授業形態は演習形式により行います。 なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 (キーワード) スピーキング、リスニング、英語コミュニケーション				
授業の趣旨	■ 割鹽 Conversation, expressions and pronunciation ■ 授業の目的 4技能(読む・書く・聴く・話す)を使ったアクティビティーを通して、高校までに学んだ語彙・文法を復習し定着させるとともに、英語を実際に使用しながら、 英語に対する抵抗感や音手意識を感じずに、コミュニケーションツールとして連用する力(英語運用力)を身につけることを目的とします。また自分の意見を簡潔に述べる練習 および発表の機会を設け、次年度の学習に繋げます。 Through a variety of activities (reading, writing, listening, and speaking), students will review the vocabulary and grammar learned during secondary education and use them in communicative activities. The students will be encouraged to overcome any shyness they feel by using English in a friendly and supportive classroom environment. They will also practice expressing their thoughts and ideas in a concise but relevant manner. By the end of the course, students will develop proficiency in using practical English in everyday situations. This general English proficiency will be the basis for the future development of English academic skills. ■ 授業のポイント より自然な英会話表現の使用を目標とし、学生の身近なテーマを題材にしたトピックを用いた授業を行います。 For more natural English conversations, the instructors will conduct classes using topics that students can relate to.				
総合到達目標	9. Work on the TOEIC Bridge questions and get used to the	must improve their conversation skills, tover those skills. することができる。 (第1-11回) 上ができる。 (第1-15回) (第1-11回) 上の英文を作成できる。 (第12回) 各バートで求められる技術を説明することが 限時間で実施することができる。 (第14回、 に、辞書や参考書等で単語の意味や文法を影 ressions that frequently appear in daily of intonation at word and sentence levels. まりゃ (Lesson 1-11) sn 1-11) gative sentences, and interrogative sent ite them in 5 sentences or more. (Lesson tences created in class. (Lesson 12) characteristics of each part of the TOEIC format and time limit as that of the office.	usage of expressions, and pronunciation. In class, ができる。(第14回、15回) 15回) 詳細に調べることができる。(第1-15回) conversation (Lesson 1-11) (Lesson 1-15) tences. (Lesson 1-11) n 12) C Bridge, and recognize the skills required for each part. (Lesson 14, 15)		
成精評価方法	「成績評価手段」 ■授業内テスト (Written test / Media report) (20%): 「評価の観点)期限内に提出を行ったか、文法・単語・表現につ 作成方法および提出となったか。 (フィードバック方法)授業内で講評を行います。 ■授業参画度 (Class Interaction/Participation) (40%): 「評価の観点)協力的かつ積極的にアクティピティに参加してい フィードバック方法)授業内でまに口頭にて適宜フィードバック方法)授業内でまに口頭にて適宜フィードバック方法)授業内でまに口頭にて適宜フィードバック方法)授業時間中に解説を行い、必要に応じてコードバック方法)授業時間中に解説を行い、必要に応じて ■TOEIC Bridge L&R IPテスト(20%):適用ルーブリック: 「評価の観点)後期は、TOEIC Bridge L&R IPテストのスコア (アイードバック方法)学生は受験後に獲得スコアを確認できま 英語 I~皿を履修していること。指定クラスで受講すること。	ごのいて理解しているか、トピックに対して適な : 適用ルーブリック: D1, A1, A2, I1, K1, k るか、日本語に頼らず英語のみで授業に参加 ウを行います。 ・ク: I1, K1, K2 こパイルアプリより提出を行い、達成度合いを プリントを配布します。 D1, A1, A2, I1, K1, K2 を評価します。	刃な内容を表現しているか、指定されたフォーマットに沿った く2 加しようとしているか、講師の指示に従っているか。		

1. レッスントピックやマテリアルはクラスのレベルと授業の進度により変更になる場合があります。詳細は授業内でお知らせします Lesson topics and material may change depending on the class level and progress made in the lesson. Those changes and more detailed information will be announced in class. 2. オンライン・ポータルを使用し復習および宿題を行うにはアクティベーションコードが必要です。必ずアクティベーションコード付きのテキストを購入してください。 また、授業はテキストのUnitに沿った内容で行いますので、毎回の授業に必ず持参してください。 An activation code is required when accessing the online portal intended for review and additional tasks at the end of each unit. Students must have a textbook with an activation code in it.

The lesson goes according to the textbook. Students must have it with them all the time. 3. 授業中のスマートフォンの使用は単語や英語表現を調べることに限り可とします。ただし明らかに授業と関係のないサイトを閲覧、メッセージのやり取りを行うなど授業の を がける行為については厳重注意を行い、 減点評価とします。ごれはパソコンの使用についても同じです。 Students are allowed to use a mobile phone to search English words and expressions to catch up with the lessons; however, if instructors find that students are 履修上の注章占 browsing unrelated websites, exchanging messages, or doing any other activity which disturbs their classmates' study, students could get a warning or even get a lower assessment score. The same guideline applies to laptops. 4. 宿題、課題は必ず期限内に実施すること。 Students must complete homework and assignment by their deadline. 5. 授業を欠席あるいは遅刻をした場合、宿題・課題等の確認は自分自身で責任を持って行うこと。欠席、遅刻は宿題・課題を完了できなかった理由にはなりません。 If students are absent or late, it becomes their responsibility to confirm homework assignments or other material covered in the missed class. Being absent or late is no excuse for incomplete work. 6. 授業は学生主体で行われるため、間違いを恐れずに積極的に参加すること。 In this course, most exercises will involve the four core language skills: reading, writing, speaking, and listening. A variety of interactive activities will be employed as well. Students must actively participate in each activity and cooperate with each other to complete the exercises. 内容 ①授業テーマ Course Introduction / review previous semester UNITs ②授業概要 Students will be able to: learn about course requirements; introduce themselves and ask and answer questions after introducing themselves / grasp the gist of this course; gauge the meaning of unfamiliar words through context. (D1, I1, K1, K2) 1 ③予習 (60分) Have a quick overview of UNIT 6 - UNIT 10. If you find unfamiliar words, highlight them and prepare the preview for the next lessons ④復習(60分) Have an overview of UNIT 6 - UNIT 10. Highlight unfamiliar words in each unit so that you can preview easily for further studies. ①授業テーマ Talking about certain activities ②授業概要 UNIT6 - Students will be able to: learn about certain activities that they care about in their daily lives; ask and respond to questions. 2 (D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習(60分)Look up the meaning of unfamiliar words and prepare to share your answers in next class's discussion. ④復習(60分)Review material and what has been discussed and tackled in the class. Talking about certain activities ②技术 Department of the past and present tenses of the verb. (D1, A2, I1, K1, K2)
③予習(60 分)Look up the meaning of unfamiliar words and prepare to share your answers in next class's discussion. ④復習 (60 分) 1. Review material and what has been discussed and tackled in the class 2. Go to your Pearson English Portal and complete the all tasks on UNIT 6, then submit. ①授業テーマ Describe nouns and verbs related to daily life ②授業概要 UNIT 7 - Student will be able to: learn about polite expressions and responses. (D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習(60 分)Look up the meaning of unfamiliar words and prepare to share your answers in next class's discussion. ④復習(60 分)Review material and what has been discussed and tackled in the class. ①授業テーマ Describe nouns and verbs related your daily lives ②授業概要 UNIT 7 - Students will be able to: practice appropriate expressions for different situations and places. (D1, A2, I1, K1, K2) ③予習(60 分)Look up the meaning of unfamiliar words and prepare to share your answers in next class's discussion ④復習(60 分)1. Review material and what has been discussed and tackled in the class. 5 2. Go to your Pearson English Portal and complete the all tasks on UNIT 7, then submit. Talking about personal belongings and conditions ②授業概要 UNIT 8 - Student will be able to: learn new vocabulary related to health and personal care. (D1, A1, A2, I1, K1, K2) 6 ③予習(60 分)Look up the meaning of unfamiliar words and prepare to share your answers in next class's discussion ④復習(60分) Review material and what has been discussed and tackled in the class. Talking about personal belongings and conditions ②授業概要 UNIT 8 - Student will be able to:use new vocabulary learned in the previous lesson; talk about health and personal care. (D1, A2, I1, K1, K2) ③予習(60 分)Look up the meaning of unfamiliar words and prepare to share your answers in next class's discussion ④復習(60 分)1. Review material and what has been discussed and tackled in the class. 7 2. Go to your Pearson English Portal and complete the all tasks on UNIT 8, then submit. ①授業テーマ Joint Class (*The topic of this class is subject to change.) ②授業概要 UNIT 9 - Student will be able to : learn about how to describe their daily activities/routines with continuous statements. 授業内容 ②技業機数 UNIT 9 - Student will be able to . learn about now to describe their daily statistics, statist 8 ④復習(60 分)Review material and what has been discussed and tackled in the class. ①授業テーマ Joint class *The topic of this class is subject to change.) ②授業概要 UNIT 9 - Students will be able to: discussing yourself and what you own with proper intonation and related photos if necessary. (D1, A2, I1, K1, K2) ③予習 (60 分) Look up the meaning of unfamiliar words and prepare to share your answers in next class's discussion. 9 ④復習(60 分)1. Review material and what has been discussed and tackled in the class 2. Go to your Pearson English Portal and complete the all tasks on UNIT 8, then submit. Talking about your past activities or future plans ②授業概要 UNIT 10 - Students will be able to: describe their experience or future plans using conditional statements. (D1, A1, A2, I1, K1, K2) 10 ③予習(60 分)Look up the meaning of unfamiliar words and prepare to share your answers in next class's discussion ④復習(60分)Review material and what has been discussed and tackled in the class. Talking about your past activities or future plans ②授業概要 UNIT 10 - Students will be able to: describe their ideas using correct verb tense; use blended pronunciation such as "didja" for did you. (D1, A2, I1, K1, K2) ③予習(60 分)Look up the meaning of unfamiliar words and prepare to share your answers in next class's discussion. 11 ④復習(60 分)1. Review material and what has been discussed and tackled in the class.
2. Go to your Pearson English Portal and complete the all tasks on UNIT 10, then submit. ①授業テーマ Review 2授業概要 UNIT 6 - UNIT 10 Students will be able to clarify some points that were misunderstood from previous lessons and homework. (D1, A1, A2, I1, K1, K2) 12 ③予習(60 分)1. Go through all the materials that have been used from session 1 to session 11. 2. Leaving no unsearched vocabulary and grammar you don't understand. ④復習(60 分)Review material referring to advice from the instructor. ①授業テーマ Media project ②授業概要 Students will be able to: create a media project to show what they have learned; write a draft and have it checked by instructors. (D1, A1, A2, I1, K1, K2) 13 ③予習(60 分)Determine the topic and look up the meaning of unfamiliar words related one to prepare for the project, write a draft ④復習(60 分)Complete the draft and the media project to submit. ①授業テーマ Final Examination and its review ②授業概要 Student will take tests including reading, listening, writing based on UNIT 7 - UNIT 10.(A1, A2,I1, K1, K2) 14 ③予習(60 分)Review all previous lessons and look up the meaning of unfamiliar words. ④復習(60 分)Check your answers and understand why wrong answers made. 授業テーマ TOEIC Bridge Practice and feedback ②授業概要 Students will learn tips for the TOEIC Bridge Test based on overall UNITs. (I1, K1, K2) ③予習(60 分)Study the material assigned in the class. ④復習(60 分)Look up the meaning of unfamiliar words and prepare the official TOEIC Bridge test 関連科目 「英語 I RMGT/SSCS 1701(1年次前学期配当)」、[英語 I RMGT/SSCS 1702(1年次前学期配当)」、「英語 II RMGT/SSCS 1703(2年次後学期配当)」 教科書 ※クラスによって使用するテキストが違います。教員の指示に従って、該当するテキストを各自購入すること Ken Beatty、StartUp 4: Student Book with Mobile App & MyEnglishLab、Pearson、2019、ISBN 978-0-1351-78430

	• Ken Beatty、StartUp 1: Student Book with Mobile App & MyEnglishLab、Pearson、2019、ISBN 978-0-1351-78461
参考書・参考URL	・Andrew E. Bennett、 大学英語『グラマー・ブラス』、 南雲堂、2013、ISBN 978-4-523-17721-0
	質問には、授業前後の時間で対応します。それ以外の時間帯は教員室へ来ることも可能です。 If you have any questions, you may talk to your instructor before or after the lesson. Also, you are welcome to visit the instructor's office.
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.	